第2回印西市部活動地域移行推進協議会 議事録

日時：令和6年7月4日（木）

13:30～15:37

場所：市役所41会議室

《出席委員》 敬称略

青木 和浩 磯 昌稔 吉野 高明 宇佐美美奈 渡辺 敏雄
荻原 健一 田口 光浩 川嶋 将行 三門 宜典 飯島 正義

《出席事務局職員》

印西市教育委員会指導課 課 長 石川 真樹子
印西市教育委員会指導課 副 参 事 深澤 淳一
印西市教育委員会指導課 指導主事 山崎 智貴
印西市教育委員会指導課 指導主事 伊東 洋樹

《傍聴者》

なし

《次第》

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 報告事項（公開）
 - (1) 令和6年度部活動実態調査
- 4 協議事項（非公開）
 - (1) 印西市部活動地域移行モデル実証事業の委託（仕様書）について
 - (2) 部活動地域移行モデル実証事業の予算要求について
- 5 その他
 - (1) 他市町の進捗状況
- 6 閉会

【議事要旨】

1 開会

(司会)

ただいまより令和6年度第2回印西市部活動地域移行推進協議会を開会いたします。

議事に入る前に申し上げます。当協議会は、印西市市民参加条例第11条4項の規定に基づき、会議公開に伴う傍聴席の開設と、傍聴席の設置と、会議録作成のため録音機材を設置して録音させていただきます。今回、協議事項で業務委託に係る仕様書や予算についての検討を予定していますので、会議の一部を非公開としてよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(司会)

それでは次第3報告事項を公開、次第4協議事項を非公開とさせていただきます。

2 会長挨拶

(司会)

次第2、会長挨拶。青木会長お願いします。

(会長)

申し訳ありませんが本日は校務のため午後3時頃に中座させていただきます。議事進行が長引く場合には荻原副会長に議長をお願いします。

<副会長承諾>

いろいろな所で地域移行の話題をよく耳にするようになりました。千葉県内でも、近隣の市町村が、それぞれの取組の情報交換をし、業務委託を模索しているところだと思います。もう少し視野を広げると、私が委員を拝命している東京都のある区を含む都内の情報も少しずつ掴んできております。都内の場合は、費用や予算の部分に対して、そんなに課題として認識していない様子です。運営団体の業務委託がスタンダードになると思いますが、本日は予算や委託に係る仕様の部分の検討もありますので、それぞれの立場でご議論いただきたいと思います。

3 報告事項

(司会)

次第3、報告事項。令和6年度部活動実態調査について事務局よりご説明いたします。

(事務局)

昨年度の協議会でも報告させていただきましたが、今年度も部活動実態調査のとりまとめが終わりましたのでご報告させていただきます。この数値を根拠に地域クラブ数の設置や地

域クラブの拠点を考慮していこうと考えています。

まず、資料の1ページをご覧ください。印西市で地域クラブ化を考えている21種目の部活動設置状況を載せています。前回の協議会で決まりましたモデル事業の種目である野球と女子バレーボールを橙で色付けしてあります。野球部は全9校中8校に設置されています。野球部に所属している生徒が114人います。これを1クラブの適正数に置き換えると、4クラブに集約するのが適正数になります。女子バレーボールは9校中6校に設置されていますが、女子バレーボールに取り組む生徒が172人います。6クラブの想定で地域クラブの設置を目指します。昨年度のデータと多少の推移はありますが、ほとんど変化のないバランスでの所属数になっています。

次に、2ページに部活動別・男女別・学年別加入者数一覧を載せております。このデータを考慮しながら地域クラブ数を設定していきます。野球部とサッカー部に所属する女子生徒もおりますが、地域クラブではそのまま男女別のクラブ設定を行う予定はありません。

最後に、学校別部活動在籍数生徒一覧です。市内には1部活動に72人所属する部活動がある一方で、2人の部活動もあります。この1部活動あたりの所属部員数の格差の部分が部活動地域移行における印西市の課題になっております。また、今回モデルで実施を考えている野球を見てみると、ある中学校の野球部に所属する生徒は27人おります。市内で一番多くの部員を抱えていますが、1年生の在籍を見てみると4人しかいないということがわかります。現在の部員の総数よりもモデル事業の中心になる1年生の人数を考慮して、地域野球クラブの拠点を設定していかなければならないと考えています。

(司会)

ただいまご説明した部活動実態調査について何かご質問・ご意見はございませんか。

(会長)

実際、野球部に5人しかいないとどのような形で部活動を運営するのですか。

(委員)

合同チームで活動しています。現在は、市内中学校3校で合同チームを組んでいます。野球については西印旛地区内の近隣市町の中学校と合同チームを組むこともあります。

(会長)

休日の活動のみですか。

(事務局)

平日は各校の部活動で少ない人数で取り組める練習を行い、休日に合同チームで試合形式の練習や練習試合を行って活動しています。この合同チームで大会などに出場しています。

(司会)

質疑がございませんので、次第3、報告事項はここまでとさせていただきます。続きまして次第4、協議事項に入りますが、本日は非公開とさせていただくことを承諾していただきました。傍聴者がおりませんのでこのまま進めさせていただきます。

当協議会設置要綱第7条1項の規定により議長は会長が務めることになっています。ここからの協議事項につきましては青木会長に進行していただきます。

4 協議事項

(会長)

今回の会議録署名人を吉野委員と川嶋委員にお願いしたいと思います。

<委員承諾>

——非公開——

<印西市部活動地域移行モデル実証事業の委託（仕様書）について>

<部活動地域移行モデル実証事業の予算要求について>

5 その他

(司会)

ありがとうございました。次第5、その他。事務局から他市町の進捗状況をお伝えします。

(事務局)

<他市町の進捗状況>

<次の協議会の開催案内>

(司会)

他に何か連絡をお持ちの委員はいらっしゃいますか。

(委員)

先日、近隣市町のプロスポーツチームから紹介されたことをお伝えします。

(委員)

プロスポーツチームのスポンサー企業がプロアスリート指導者派遣をする“部活未来アクション”という事業を行っているという案内がありました。派遣活動資金調達や指導者の派遣等の部活動地域移行についての総合的なサポートするようです。事務局でその企業に問い合わせをしても良いと思います。

(事務局)

情報提供ありがとうございます。連絡を取り、事業内容を聞いてみたいと思います。

6 閉会

(司会)

以上で「第2回印西市部活動地域移行推進協議会」を閉会いたします。本日は、どうもありがとうございました。

令和6年度第2回印西市部活動地域移行推進協議会会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和6年8月7日

委員 吉野 高明

委員 川嶋 将行